



2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月9日

上場会社名 株式会社 昭和真空

上場取引所 東

コード番号 6384 URL <http://www.showashinku.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 小俣 邦正

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 田中 彰一

TEL 042-764-0392

四半期報告書提出予定日 2023年2月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	7,262	12.8	725	34.3	762	32.0	554	31.3
2022年3月期第3四半期	8,331	6.3	1,105	4.4	1,119	7.7	806	2.7

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 691百万円 (27.4%) 2022年3月期第3四半期 952百万円 (10.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	89.96	
2022年3月期第3四半期	130.92	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	15,880	11,375	71.6	1,847.03
2022年3月期	17,398	11,057	63.6	1,795.40

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 11,375百万円 2022年3月期 11,057百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		60.00	60.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,039	16.1	885	47.0	927	45.4	656	47.1	106.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	6,499,000 株	2022年3月期	6,499,000 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	340,349 株	2022年3月期	340,449 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	6,158,651 株	2022年3月期3Q	6,158,429 株

2023年3月期3Qの期末自己株式数には、「従業員株式給付信託(J-ESOP)」の信託財産とし(株)日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式69,600株が含まれております。また、(株)日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件などについては、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	11
3. 補足説明	12
(1) 生産、受注及び販売の状況	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年12月31日)における世界経済は、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化、資源や原材料価格の高騰、半導体等の資機材供給面での制約、各国のインフレ抑制に向けた金融引き締めに伴う景気後退懸念など先行き不透明な状況が続きました。

わが国経済は、新型コロナウイルス感染症(以下、「感染症」という。)に関する行動制限などが行われず、ウィズコロナの下で各種政策効果もあり、景気は持ち直しの動きが継続しましたが、感染症の再拡大、資源・原材料価格高騰や急激な円安などの影響を受けた物価上昇など、不安定さを抱えた状態となりました。

当社グループを取り巻く経営環境を見ると、5Gの普及、自動車の電装化や自動運転技術向上、IoTで全ての人とモノがつながる社会の進展など「新しい生活様式」の実現に向けた技術革新を背景に電子部品業界の次世代製品開発への取り組みは継続しましたが、世界のスマートフォン出荷台数が減少したことなどを受け、総じてデバイスメーカーの設備投資は様子見姿勢が強まりました。

こうした環境の中、当社グループは、主要取引先電子部品メーカーの開発投資需要や一部の取引先からの増産投資需要へ対応するとともに、新規先を含めた電子部品メーカーからのサンプル成膜依頼や共同開発に積極的に取り組み、また、生産性やメンテナンス性を向上させた光学用装置やコンポーネントを市場投入するなど、既存技術応用分野及び新規市場の開拓を含めた営業活動を継続しました。

生産面では、受注予定案件を見据えた生産体制を整えるなど効率的な生産に努めましたが、顧客事情や資機材長納期化継続の影響などにより、納品スケジュールが第4四半期以降に後倒しとなる案件がありました。

損益面では、案件ごとの利益率向上を意識した営業や生産活動、品質管理体制強化による初期不良抑制、継続的な経費削減に取り組み、利益確保に努めました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、受注高は64億83百万円(前年同四半期比38.0%減)、売上高は72億62百万円(同12.8%減)となりました。

損益につきましては、経常利益7億62百万円(前年同四半期比32.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益5億54百万円(同31.3%減)となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

①真空技術応用装置事業

真空技術応用装置事業の受注高は46億74百万円(前年同四半期比49.0%減)、売上高は54億53百万円(同22.6%減)、セグメント利益は10億26百万円(同40.2%減)となりました。

業界別の状況は以下のとおりです。

(水晶デバイス装置)

水晶デバイス業界では、世界のスマートフォン出荷台数減少によるデバイスメーカーの設備稼働率低下などを受け、海外メーカーの設備投資姿勢は様子見が続きましたが、日系メーカーから増産などに係る受注を獲得しました。売上に関しては、顧客の工場建設遅延、設備導入計画変更、支給品遅延などにより納品スケジュールが後倒しとなる案件がありました。

水晶デバイス装置の受注高は9億61百万円(前年同四半期比79.1%減)、売上高は20億44百万円(同52.8%減)となりました。

(光学装置)

光学業界では、スマートフォンを含めた最終製品の出荷が低調に推移している中で、スマートフォンのカメラ性能向上、メタバース市場拡大などを見越した投資ニーズ及び車載関連光学分野などに対する営業活動を積極的に行いました。売上に関しては、顧客の装置受入準備遅延により納品スケジュールが後倒しとなる案件がありました。

光学装置の受注高は21億19百万円(前年同四半期比31.7%減)、売上高は25億93百万円(同40.5%増)となりました。

(電子部品装置・その他装置)

電子部品業界では、デバイスメーカーの設備稼働率は総じて低下傾向となりましたが、次世代デバイス開発などを含めたサンプル成膜依頼や共同開発に積極的に取り組むことで、医療、太陽光発電及び自動車分野並びにSAWフィルタやBAWフィルタ及びジャイロセンサに係る装置の受注を獲得しました。また、新規市場の開拓も継続的に行いました。売上に関しては、資機材長納期化の影響や装置仕様変更などにより納品スケジュールが後倒しとなる案件がありました。

電子部品装置・その他装置の受注高は15億93百万円（前年同四半期比9.5%増）、売上高は8億15百万円（同6.3%減）となりました。

②サービス事業

サービス事業につきましては、ユーザーに対する定期的な稼働状況確認により、潜在ニーズの掘り起こしに努めるとともに、顧客の生産性向上提案を推進し、装置の改造・修理や消耗品の販売に努めました。第2四半期までに光学デバイスメーカーの生産用途変更及び生産性向上ニーズへの対応に係る売上を計上していることにより改造工事が前年同四半期比大幅に増加しました。

サービス事業の売上高は18億8百万円（前年同四半期比40.6%増）、セグメント利益は5億10百万円（同96.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は119億85百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億3百万円減少しました。これは主に原材料及び貯蔵品が2億99百万円、現金及び預金が2億18百万円増加したものの、売掛金が19億67百万円減少したことによるものです。固定資産は38億94百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億13百万円減少しました。これは主に繰延税金資産が47百万円、投資有価証券が31百万円減少したことによるものです。

この結果、総資産は158億80百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億17百万円減少しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は34億81百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億94百万円減少しました。これは主に電子記録債務が5億37百万円、前受金が5億11百万円、支払手形及び買掛金が4億30百万円、未払法人税等が3億10百万円、賞与引当金が1億55百万円減少したことによるものです。固定負債は10億23百万円となり、前連結会計年度末に比べ58百万円増加しました。これは主に退職給付に係る負債が31百万円増加したことによるものです。

この結果、負債合計は45億5百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億35百万円減少しました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は113億75百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億18百万円増加しました。これは主に利益剰余金が1億80百万円、為替換算調整勘定が1億54百万円増加したことによるものです。

負債が減少し純資産が増加した結果、自己資本比率は71.6%（前連結会計年度末は63.6%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年11月9日付「2023年3月期 第2四半期決算短信」にて公表いたしました業績予想を変更しております。なお、詳細につきましては、本日公表いたしました「2023年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,065,720	5,284,322
受取手形	633,171	582,687
売掛金	3,780,511	1,813,153
契約資産	94,508	-
商品及び製品	369	2,119
仕掛品	3,426,328	3,438,543
原材料及び貯蔵品	235,761	535,383
その他	155,613	332,178
貸倒引当金	△2,349	△2,642
流動資産合計	13,389,635	11,985,744
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,038,723	1,011,243
機械装置及び運搬具(純額)	177,800	220,988
土地	1,970,562	1,970,562
建設仮勘定	60,294	34,457
その他(純額)	134,601	118,002
有形固定資産合計	3,381,982	3,355,254
無形固定資産		
リース資産	6,642	4,631
その他	47,533	40,987
無形固定資産合計	54,176	45,618
投資その他の資産		
投資有価証券	242,259	211,206
繰延税金資産	244,885	196,958
退職給付に係る資産	57,639	59,740
その他	27,912	26,269
貸倒引当金	△279	△279
投資その他の資産合計	572,418	493,896
固定資産合計	4,008,576	3,894,769
資産合計	17,398,212	15,880,514

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,483,420	1,052,735
電子記録債務	1,797,758	1,260,347
短期借入金	49,908	49,533
リース債務	10,150	8,239
未払費用	215,717	231,972
未払法人税等	321,959	11,528
前受金	1,003,682	491,781
賞与引当金	265,040	109,196
役員賞与引当金	113,000	56,000
製品保証引当金	56,400	53,400
工事損失引当金	22,600	34,900
その他	36,380	122,263
流動負債合計	5,376,017	3,481,899
固定負債		
社債	450,000	450,000
長期借入金	92,833	107,163
リース債務	18,070	11,936
退職給付に係る負債	293,097	324,194
株式給付引当金	36,402	54,290
長期未払金	74,738	75,806
固定負債合計	965,144	1,023,391
負債合計	6,341,161	4,505,290
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,177,105	2,177,105
資本剰余金	2,793,805	2,793,805
利益剰余金	6,090,772	6,271,119
自己株式	△318,284	△318,007
株主資本合計	10,743,397	10,924,022
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	129,283	112,477
為替換算調整勘定	180,832	335,341
退職給付に係る調整累計額	3,536	3,381
その他の包括利益累計額合計	313,653	451,200
純資産合計	11,057,050	11,375,223
負債純資産合計	17,398,212	15,880,514

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	8,331,263	7,262,484
売上原価	5,795,041	5,053,367
売上総利益	2,536,221	2,209,117
販売費及び一般管理費	1,430,966	1,483,237
営業利益	1,105,255	725,879
営業外収益		
受取利息	4,079	7,675
受取配当金	3,086	3,838
受取賃貸料	1,482	1,731
保険配当金	-	17,724
補助金収入	7,537	10,396
為替差益	8,844	-
その他	2,667	2,912
営業外収益合計	27,697	44,278
営業外費用		
支払利息	1,290	1,937
支払保証料	1,190	1,156
社債発行費	9,639	-
為替差損	-	3,974
その他	959	1,070
営業外費用合計	13,080	8,138
経常利益	1,119,872	762,020
特別利益		
投資有価証券売却益	-	5,788
特別利益合計	-	5,788
特別損失		
固定資産除却損	0	-
特別損失合計	0	-
税金等調整前四半期純利益	1,119,872	767,809
法人税、住民税及び事業税	295,100	157,848
法人税等調整額	18,498	55,911
法人税等合計	313,599	213,760
四半期純利益	806,273	554,048
親会社株主に帰属する四半期純利益	806,273	554,048

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
四半期純利益	806,273	554,048
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	51,341	△16,805
為替換算調整勘定	92,571	154,508
退職給付に係る調整額	2,166	△154
その他の包括利益合計	146,078	137,547
四半期包括利益	952,352	691,596
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	952,352	691,596

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引)

当社は、2020年11月6日開催の取締役会決議に基づき、当社の株価や業績と従業員の処遇の連動性をより高め、経済的な効果を株主の皆様と共有することにより、株価及び業績向上への従業員の意欲や士気を高めるため、従業員に対して自社の株式を給付するインセンティブプラン「株式給付信託(J-ESOP)」制度(以下、「本制度」という。)を2020年11月24日より導入しております。

(1) 取引の概要

本制度は、予め当社が定めた株式給付規程に基づき、一定の要件を満たした当社の従業員に対し当社株式を給付する仕組みです。当社は、従業員に対し当社の業績等に応じてポイントを付与し、一定の条件により受給権を取得したときに当該付与ポイントに相当する当社株式等を給付します。従業員に対し給付する株式については、予め信託設定した金銭により将来分も含め取得し、信託財産として分別管理するものとします。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度末は96,812千円、69,800株、当第3四半期連結会計期間末は96,535千円、69,600株です。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	7,044,372	1,286,890	8,331,263
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,423	5,297	8,720
計	7,047,796	1,292,187	8,339,984
セグメント利益	1,716,638	259,739	1,976,377

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,976,377
セグメント間取引消去	17,292
全社費用(注)	△888,414
四半期連結損益計算書の営業利益	1,105,255

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	5,453,593	1,808,890	7,262,484
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,107	17,262	22,369
計	5,458,701	1,826,153	7,284,854
セグメント利益	1,026,623	510,412	1,537,036

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,537,036
セグメント間取引消去	20,040
全社費用(注)	△831,197
四半期連結損益計算書の営業利益	725,879

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第3四半期累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位:千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
水晶デバイス	4,327,984	371,107	4,699,092
光学	1,845,465	385,989	2,231,454
電子部品	870,922	390,219	1,261,142
その他	—	139,573	139,573
顧客との契約から生じる収益	7,044,372	1,286,890	8,331,263
外部顧客への売上高	7,044,372	1,286,890	8,331,263

当第3四半期累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位:千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
水晶デバイス	2,044,473	389,340	2,433,813
光学	2,593,237	757,658	3,350,896
電子部品	815,882	455,274	1,271,157
その他	—	206,617	206,617
顧客との契約から生じる収益	5,453,593	1,808,890	7,262,484
外部顧客への売上高	5,453,593	1,808,890	7,262,484

3. 補足説明

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当第3四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日) (千円)	前年同四半期比(%)
真空技術応用装置事業		
水晶デバイス装置	2,042,898	47.2
光学装置	2,593,237	140.5
電子部品装置	815,882	93.7
その他装置	—	—
真空技術応用装置事業計	5,452,018	77.4
サービス事業		
部品販売	855,006	104.4
修理・その他	959,499	206.8
サービス事業計	1,814,506	141.5
合計	7,266,525	87.3

(注) 上記の金額は販売価格によっております。

②受注実績

当第3四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)			
	受注高(千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
真空技術応用装置事業				
水晶デバイス装置	961,967	20.9	2,166,959	51.0
光学装置	2,119,747	68.3	2,143,513	66.2
電子部品装置	1,593,269	109.5	1,925,100	152.2
その他装置	—	—	—	—
真空技術応用装置事業計	4,674,984	51.0	6,235,572	71.2
サービス事業				
部品販売	850,965	103.4	—	—
修理・その他	957,924	206.5	—	—
サービス事業計	1,808,890	140.6	—	—
合計	6,483,874	62.0	6,235,572	71.2

③販売実績

当第3四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日) (千円)	前年同四半期比(%)
真空技術応用装置事業		
水晶デバイス装置	2,044,473	47.2
光学装置	2,593,237	140.5
電子部品装置	815,882	93.7
その他装置	—	—
真空技術応用装置事業計	5,453,593	77.4
サービス事業		
部品販売	850,965	103.4
修理・その他	957,924	206.5
サービス事業計	1,808,890	140.6
合計	7,262,484	87.2

(注) セグメント間の取引については相殺消去しております。